

# 映像部門

## 特 選

にしんテレビ「健康寿命～元気な長生き～」 日進市

収録時間	経 費	年間制作本数	放映方法
10 分	420,000 円	12 本	ホームページ上での動画配信 ケーブルテレビ放映

### ◇審査講評

まずは、アヴァン・タイトルの「老い」をモチーフにしたCGの作りがいい。引き込まれます。続いて、若者に「老い」に対して抱くイメージを聞きます。「元気のあるなし」「価値観が違う」「今は別のもの」等々...意見をまとめ、この作品のテーマに漠然とではあるが導いていきます。そして、中高年に「高齢者は何歳から?」、高齢者に「仕事の目的は?」と聞き、訴求点へと絞っていくプロローグは、この作品のまさに粗筋を、かつ、問題提起を表現するに十分な手法とっていいでしょう。そして、本編では、日進市の高齢者に対するの施策(人材センターから介護まで)を展開は速いが、実にポイントをうまく捉えて紹介してくれます。撮影、編集といった技術力を駆使しての見事な展開でテーマを訴求していきます。まさに、初めに構成をしっかりと練った上での仕事でしょう。そして、最後には、荘厳で壮大なテーマである「生」と「死」について考えるように導きます。

そんな中で、記憶に残るコメントが多々ありました。「健康になることが目的でなく、獲得した健康で何をすることが目的」。また、高齢の外科医の言葉は「自分自身の生と死をしっかりと考えると、その中にきっと何か分かることがある」としめています。結論を導くには難しいテーマですが、いろいろな言葉が視聴者にヒントを与えてくれる作品になっています。

何処の地域も抱えている問題を日進市からグローバル化して日本全国へ発信...まるで全国広報コンクールを意識したようなまとめ方ですね。日進市の「高齢者問題」から、普遍的なテーマでもある「死」をどのように受け入れるか...という壮大な問題を提起して終っている。スケールの大きさを感じさせます。日進市の作品は問題提起のみならず、このように問題意識を持って、広く一般にアピールする姿勢が素晴らしいと思います。それ故に、説得力のある素晴らしい作品になっているといえます。